

春山集中：丹沢 塔ノ岳、書策新道-尊仏岩

- ◆日程 2017年4月15日(土)
- ◆メンバー L：小林、小山田
- ◆天候 晴れ

入会前から行きたい 行きたいと思っていた書策新道、小林さんが春山集中のコースに組んでくださり、喜び勇んで参加。バス停待ち合わせ時間は佐藤パーティの沢登り組と一緒に、入渓点と取り付きも近く、戸沢山荘までの林道歩き一時間半は、5人で賑やかに歩いた。晴れているが、夕方ころ雷雨予報が出ているのが少し心配。

今回二万五千円にきちんとルートが引けなかったが、登る前に小林さんが説明しながら引いてくださった。佐藤パーティと別れ、いよいよ廃道歩き。尾根上の踏み跡を辿り、しばらくしてからはトラバース道を上がっていく。水無川沿いに登っていき、渡渉する。崩落箇所とされているところも2箇所ほどあり、トラロープが張られていたりしたが、それを頼ることもなく通過できる。尾根に登り、トラバース、を繰り返して少しずつ高度を上げていく。

途中、セドノ沢左俣の川床そばで休憩。とても気持ちのいいところだったが、腰を下ろしていると、風に吹かれて寒くなり、休憩もそこそこにまた歩き出す。よく注意して見ていないと踏み跡を見失いそうになり、小林さんに方向を修正してもらいながら歩く。天気は日が照りつけたかと思うと曇ったり、の繰り返しだ。表尾根直下の道は道が整備されていた時の名残りか、木で道を階段状にしたのが残っていた。

表尾根上の書策小屋跡に出ると、中尾根の日比野パーティと偶然出会った。今度は6人に増えて塔ノ岳を目指す、途中木の又大日小屋でコーヒーを飲むという日比野パーティを残し、小林さんとふたりで先を急ぐ。こちらはいったん塔ノ岳を過ぎて、尊仏岩を見に行く、という予定を立てていた。

塔ノ岳山頂は人が多く、風強く寒い。休憩もそこそこに、また地図に岩の場所を記入してもらい、丹沢山方面の登山道を外れ、笹原を下って探しに行く。15分ほど下った急な所に巨大な岩の下部分を小林さんが発見。首のとれたお地藏さま2体と、尊仏と書かれた石碑が乗っている。見たいと思っていた尊仏岩だったので、感動。写真を撮り、塔ノ岳に戻る。山頂に到着したのが、ピッタリ13時集合時間ジャストだった。



書策新道は変化に富み、とても魅力的な道でした。廃道にしてしまうのはもったいないと思いますが、あまりたくさんの方が歩くようになるのも嬉しくないのも、このままでいいのかもしれない、とも思います。荒れている、と言われていますが、正直それほどのことは感じなかった。

CT：大倉 7：20-戸沢 8：50-セドノ左俣 10：40-11：25 書策小屋跡-12：15 塔ノ岳-12：45 尊仏岩-13：00 塔ノ岳-大倉 16：50

(記：小山田)